

日本の未来企業

Vol.52

次の百年を創る

世界にあまたある創業い。当時、米製薬大手ベンチャー。新薬開発にアイザーの中央研究所つながらる化合物を開発（愛知県武豊町）の人事し、製薬会社などに導出責任者だった古田はこの（知的財産権の使用許日、米本社が下した重要可）すること将来のな決定を日本の従業員に「大化け」を目指す。し伝える場を設定しなくてかし、がんや加齢性黄斑はならなかった。研究所変性などの治療に役立つの閉鎖、である。化合物を手がけるAskA t業績が低迷していたフA tは通常のベンチャーアイザーは日米などで大とはひと味違う。社長の規模なりストラを断行し古田晃浩には、2度の曲折がある。

リストラと起業

古田は今も、2007年1月19日を忘れられなかに相談するほど念を入

表時の振る舞い方を事細かに相談するほど念を入

AskA t

新薬開発化合物知財が強み

社長 古田 晃浩 氏



したが、やはり従業員に動揺が走る。一部から怒号も上がった。金調達を条件に、痛みや動揺が走る。一部から怒号も上がった。消化器疾患に効く新薬の開発を引き継ぐ新会社の設立が認められた。

遠からぬうちに原則全員が解雇される。古田はその後、再就職あっせんなどに追われたが「それでも約80人が仲間とともに研究を続けたいと言った」。共鳴した古田は本社と交渉。外部からの資



従業員3人で新薬開発を進める

世界を変える

外に出すことになった。13年1月、痛み、がん免疫療法、自己免疫疾患、認知症の4分野の開発化合物の知財を同社から引き継ぐ形で、AskA tが設立された。今後は18年度以降の黒字化、25年までに総額28億円の収益を計画する。仕事場が変わっても、開発への思いは変わらな「我々の仕事は人の命に関わる。例えばがん治療の飲み薬ができれば世の中は変わる。とにかく良い薬を出したい」。

現在の会社設立

しかし、古田にまたも訓練が訪れる。ラクオリアは12年、業績不振により、消化器疾患と痛みの品化できないとされる新薬開発において「当社は競争力がある」と胸を張る。研究所や工場は持た

企業プロフィール

AskA tの強みはフアイザーやラクオリアで研究が一定程度進んだ化合物の知財を持つ点だ。100万個に1個しか製品できないとされる新薬開発において「当社は競争力がある」と胸を張る。研究所や工場は持た